

ABeam Cloud® Cash Management

自社や自社グループの出納部門が分散している企業は、資金管理を把握しにくい傾向にあります。不要な資金が滞留し、その余剰資金に気付かず借入れを行えば、新たなコストが発生してしまいます。また、企業全体における内部統制強化が求められる今、企業グループ経営の第一歩として、連結ベースの資金管理の重要性が高まっています。

ABeam Cloud® Cash Management サービスでは、クラウドソリューションとしてマルチバンク対応のCMSを提供し、このような企業の資金管理問題の解決を支援いたします。

CMS(キャッシュマネジメントシステム)とは

CMSとは、企業グループ全体の一元的な資金管理を実現し、資金効率の向上および資金管理業務の最適化を支援するツールです。

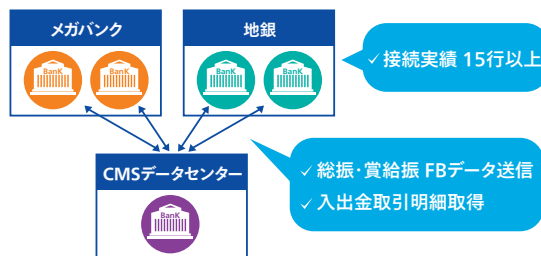
- グループ内に統括会社(親会社、もしくは金融子会社)を設け、グループ会社の資金を統括会社の銀行口座(統括口座)に集中させて一元管理します
- 統括会社は銀行の代わりとなり余剰資金があるグループ会社から借入れ、資金不足のグループ会社に貸し付けを行います
- グループ全体の余剰資金は、設備投資や有利子負債の返済に回すなど、財務体質を改善し、企業価値向上にも寄与します
- グループ全体の不足資金は、統括会社がグループを代表して金融機関から調達し、グループ会社に配分することで、資金調達業務の一元化や調達コストの低減が可能です

ABeam Cloud® Cash Management サービスの特徴

マルチバンク接続により特定の金融機関に依存しないソリューションとなっており、導入においては弊社知見に基づいたコンサルティングサービスを提供します。

1 マルチバンク対応

- ・ 統括口座、仕向銀行ともに現状の銀行口座構成ベースで利用可能
- ・ 地銀も含め多数の金融機関と接続でき、資金の一元管理を実現



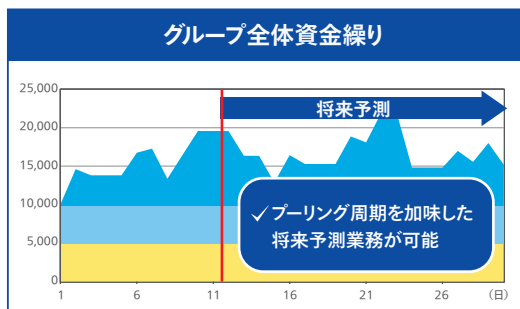
2 財務高度化支援

- ・ CMSを導入・展開するためには、グループ企業との合意形成が重要
- ・ 他社導入事例、活用の知見をベースに、資金管理のあるべき姿を描くところから、グループ展開も含めたコンサルティング支援を提供

構想策定		
現状分析	基本方針策定	ロードマップ策定
なぜ必要か?	どうあるべきか?	どう実現するか?
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現状の資金管理の実態をアンケート・ヒアリングにより調査 ✓ 他社事例との比較を実施 ✓ 資金効率化による効果測定を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現状分析結果、貴社において目指すべき資金管理像を基に、資金管理の基本方針策定を支援 ✓ 資金管理像実現に向けたCMS活用範囲・方法を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 理想像実現に向けロードマップを策定 ✓ ロードマップ実現のための方策をレポート化

3 資金繰り予測

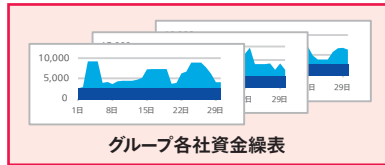
- ・ 資金繰り帳票はすべて Excelで出力でき、加工・集計が容易
- ・ CMSに登録された支払予定等の情報は自動反映されるため、入出金の予定を登録するだけのシンプル入力により、担当者の負担を軽減
- ・ プーリング周期も加味した資金集中配分予定を表示できるため、実務で活用できる資金繰り表の出力が可能



CMSの基本的な考え方

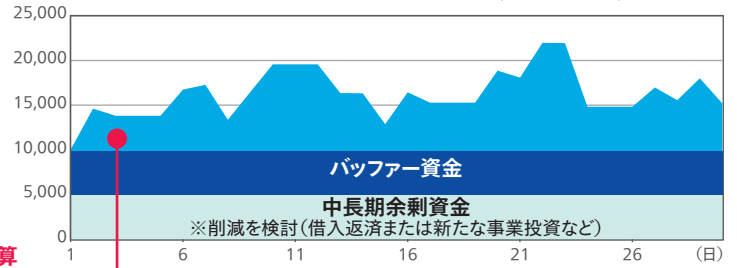
1. 余剰資金の可視化

グループ全体の一定期間の銀行口座残高を合算することで、余剰資金を可視化し、設備投資や借入金の返済など効果的な余剰資金の利用検討を行います。



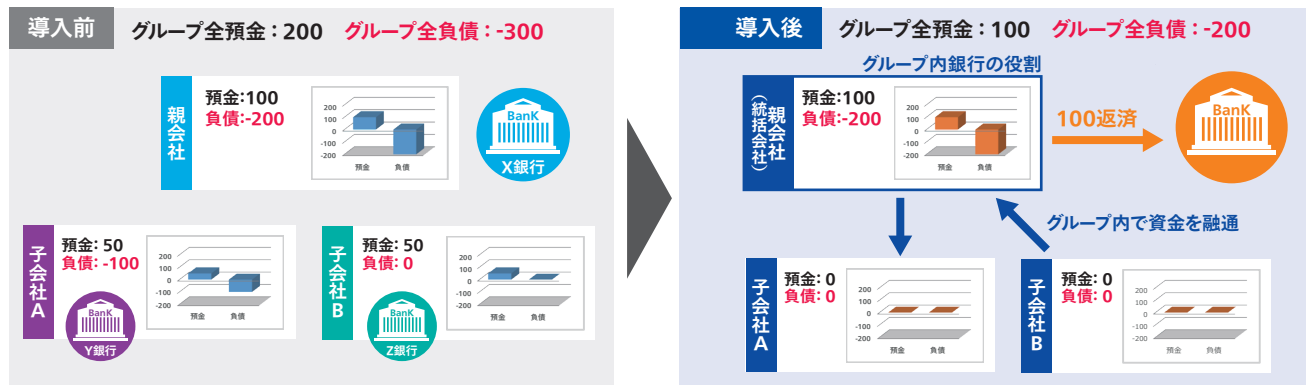
グループ会社の
銀行口座残高を合算

グループ全体の日別銀行口座残高推移 (20XX年X月)



2. 財務体質の改善・向上

資金管理を統括会社に一本化することにより、資金効率を高め、財務体質の改善を目指します。



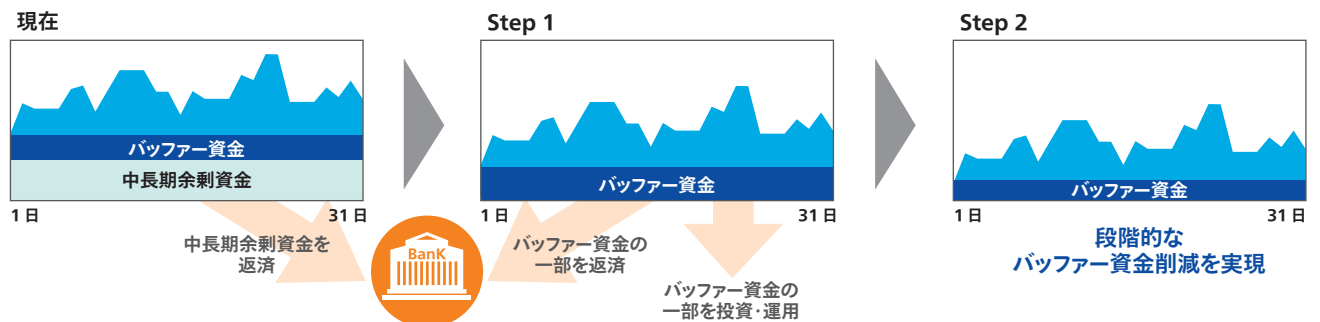
3. ガバナンス強化

グループ全体の資金管理業務を標準化したり、グループ会社の資金を可視化することによってガバナンスの強化を図ることができます。

CMSの導入効果

統括会社が継続的にグループ全体の資金繰り状況を確認し、個別指導を行うことでグループ全体の資金繰り予測の精度が向上し、段階的に必要資金量のバッファー資金の削減効果が期待できます。

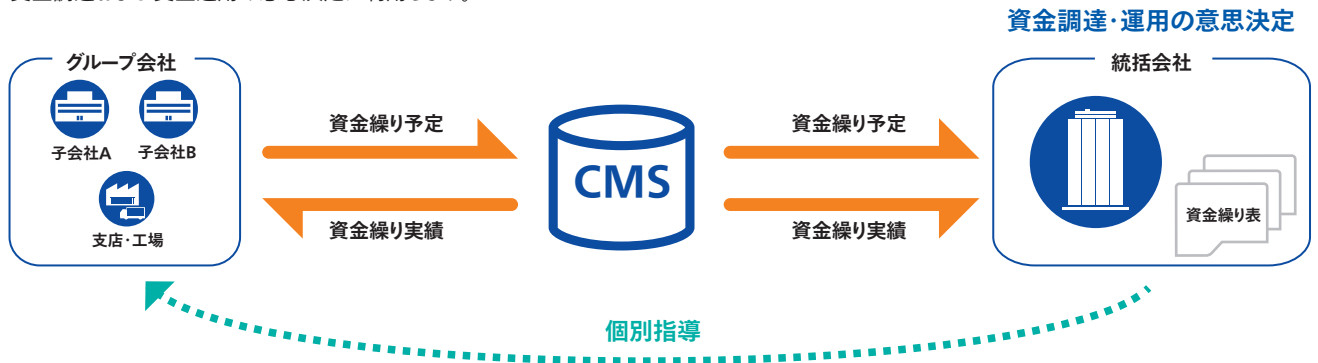
統括口座残高推移



CMSの代表的な機能

資金繰り管理

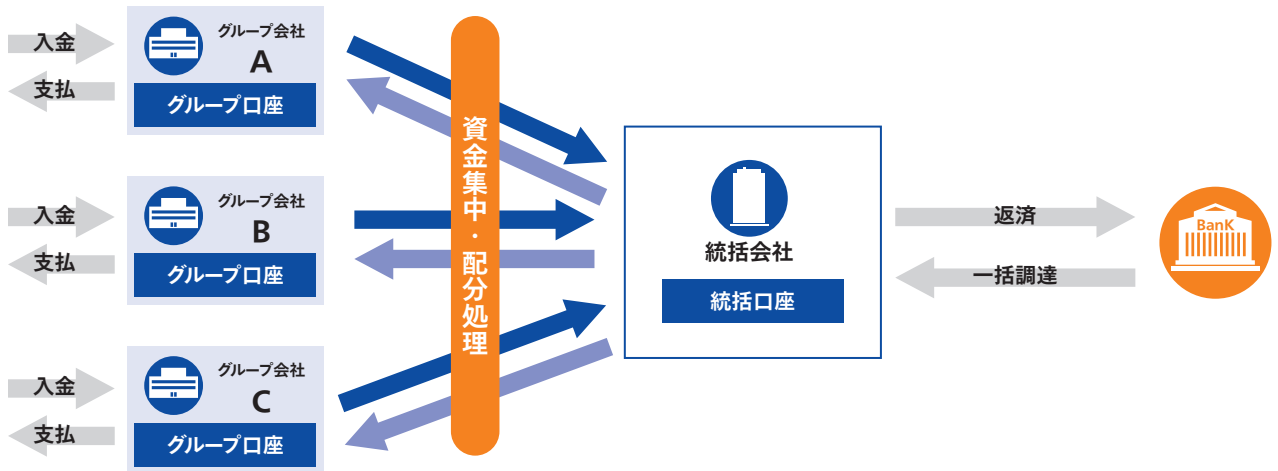
統括会社、グループ会社それぞれのCMS口座の直近の残高と資金繰り予定を集計し、統括口座の残高推移を予測します。資金過不足を判断し、資金調達および資金運用の意思決定に利用します。



1. グループ会社が資金繰り予定を入力すると、CMSが自動集計し、グループ全体の資金繰り表を作成する
2. 統括会社は統括口座の残高推移を予測し、資金調達・運用の意思決定を行う
3. 統括会社はグループ会社の資金繰りの予定／実績に大きな乖離がないかチェックを行う
4. 統括会社は資金繰りの精度が低いグループ会社に対して注意喚起、個別指導を行う

プーリング

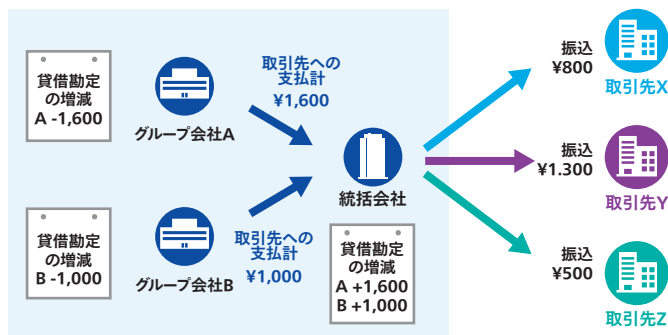
統括会社にグループ全体の資金を管理する銀行口座(統括口座)を設け、余剰資金を持つ子会社(または支社)から統括口座に資金を吸い上げ、資金不足の子会社(または支社)に統括口座から資金を配分します。



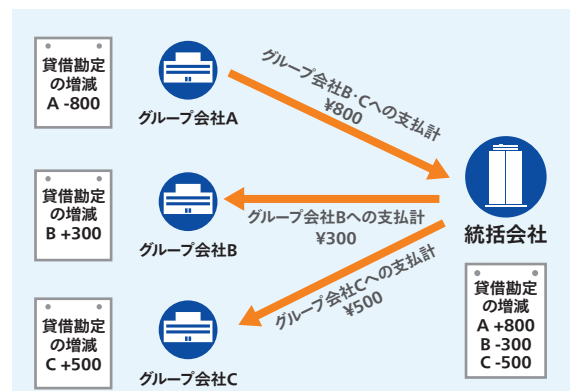
支払代行・ネットینگ

子会社の支払いを親会社が立替払い(支払代行)します。同じグループ内の支払いは貸借の付け替えだけ行い、資金決済せずに精算するため、振込手数料は不要(ネットینگ)となります。

支払代行 例



ネットینگ 例



機能一覧

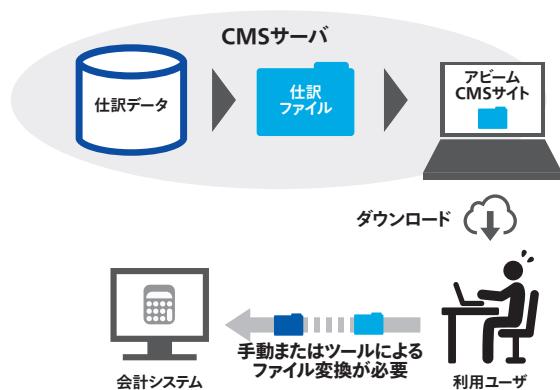
国内向けCMSとしてフルスペック機能を搭載し、さまざまなニーズに対応します。

標準	資金プーリング	資金移動管理	銀行ホストによるゼロバランスサービスおよびANSERによる資金プーリング結果の取り込み
	貸借管理	流動性貸借	期限の定めのない親子間の貸借の管理／資金プーリング・支払代行などの結果の自動記帳
		定期性貸借	期限の定めのある親子間の貸借の管理、グループ・統括会社間のワークフローによる契約締結
	その他 共通機能	資金繰り管理	グループ会社が入力した入出金予定に基づいた、グループ全体の入出金予定の予測
		手数料管理	統括会社がグループ会社から徴収するCMS利用料、支払代行手数料などの手数料の計算
		与信管理	統括会社からグループ会社への貸付枠や支払代金の振込枠の管理(超過時の警告、ペナルティ機能)
		会計管理(仕訳処理)	CMSで実施した親子間の貸借取引に関する仕訳データの自動生成
支払代行 ・ ネットィング	支払代行(総合振込)	総合振込の支払代行処理の実行、グループ内支払先の場合は貸借付替による精算(ネットィング)	
	支払代行(給与振込)	給与・賞与振込の支払代行処理の実行	
	会社集約	複数のグループ会社から共通の支払先へ同一期日に振込の場合に、振込処理を1本に集約	
オプション	仕訳マッピング	CMSから出力する仕訳フォーマットを、各社の会計システムに合わせて変換	

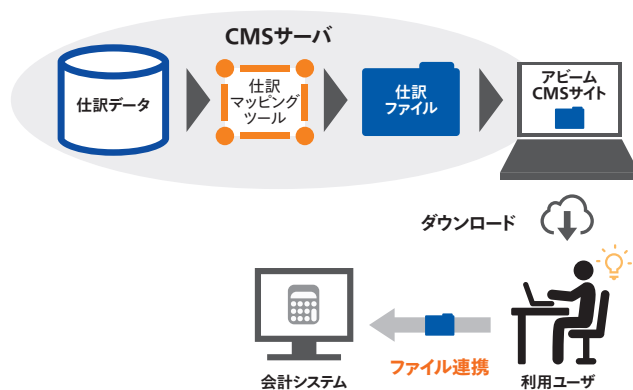
オプション:仕訳マッピング機能

会計システムの記帳業務を省略化するため、CMSで発生するすべての取引の仕訳データは標準フォーマットでファイルに出力することができます。また、標準機能にオプション機能を追加することで、既存の会計システムに対応したフォーマット形式の仕訳ファイルを出力し、会計システムへの仕訳データ連携にかかる負荷を軽減します。

仕訳マッピングを利用しない場合



仕訳マッピングを利用する場合



導入スケジュール

ABeam Cloud® Cash Managementサービスは、構想策定から導入までご支援可能です。ご要望に合わせて企業システムとの連携対応のご相談も承ります。

